

対象校No.
注4

学校コード G13631000001
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

認可

注2

神山まるとと高等専門学校 デザイン・エンジニアリング学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

学校法人神山学園
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	経営管理チーム
職名・氏名	リーダー・ ^{フナツジョン} 舟津潤
電話番号	050-1780-2843 (内線: 230)
(夜間)	080-3032-7702
e-mail	info@kamiyama.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」

- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

目次

＜デザイン・エンジニアリング学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. 既設大学等の状況	19
5. 教育研究実施組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人神山学園

(2) 大 学 名

神山まると高等専門学校

(3) 調査対象大学等の位置

〒771-3310

徳島県名西郡神山町神領字西上角175-1

及び〒771-3310 徳島県名西郡神山町神領字大埜地343, 344, 345, 346-1, 346-2, 347, 348-4, 348-5

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(テラダ チカヒロ) 寺田 親弘 (現職就任令和4年9月8日)	(フ リ ガ ナ) 氏 名 (現職就任年月)	
学 長	(オオクラ ミネキ) 大蔵 峰樹 (現職就任令和4年9月8日)		
学 部 長			
学科長等		(イトウ ナオキ) 伊藤 直樹 (現職就任令和6年4月1日)	学年進行に伴う教学運営体制強化のため

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
デザイン・エンジニアリング 学科 準学士(工学)	工学関係	5年	40人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	200人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	40人 (—) [—]	—人 (—) [—]	40人 (—) [—]	—人 (—) [—]				
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	399人 (—) [—]	— (—) [—]	458 (—) [—]	— (—) [—]				
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	398人 (—) [—]	— (—) [—]	458 (—) [—]	— (—) [—]				
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	44人 (—) [—]	— (—) [—]	43 (—) [—]	— (—) [—]				
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	44人 (—) [—]	— (—) [—]	42 (—) [—]	— (—) [—]				
入学定員超過率 B/A	—		—		—		—		1.1		1.05			1.05倍	1.05倍	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
 (春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校」の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	44 [－] (－)	－ [－] (－)	42 [－] (－)	－ [－] (－)	
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	42 [－] (－)	－ [－] (－)	
3 年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
4 年次											－ [－] (－)	－ [－] (－)	
5 年次													
計													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	人	人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	44 人	2 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	2 人	0 人	他の教育機関への転学(2名)
令和6年度	84 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合 計		2 人		2 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{44} = \boxed{4.54} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{84} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<デザイン・エンジニアリング学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					教 員 数 (教 員 手 以 外 除 の)
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
一 般 科 目	文章表現	1通		2					1			1
	国語Ⅰ	2通		2					1	1		
	国語Ⅱ ※	4後		2					1	1		
	論文作成法	5前		2					1			
	SFプロトタイピング ※	5後		2								
	英語Ⅰ	1通		4					1			
	英語Ⅱ	2通		4					1			
	英語Ⅲ	3通		2					1			
	英語Ⅳ ※	4通		4					1			
	英語Ⅴ ※	5前		2					1			
	現代社会A	1通		2						1		2
	現代社会B	3通		2						2		
	歴史	2通		2			1		1	1		
	倫理	3通		2						1		
	心理学 ※	4前		2								
	社会学基礎 ※	5後		2						1		
	法律 ※	5後			2							
	地理 ※	5後			2							
	基礎数学Ⅰ	1通		2					1	1		
	基礎数学Ⅱ	2通		2					1	1		
	代数幾何学	2通		2			1		1			6
	微分積分学	3通		2			1		1			
	確率統計学	3通		2			1					
	物理	1通		2			1					
	化学	1通		2			1					
	地球・自然環境	2通		2			1		1			
	解析学Ⅰ ※	4前		2					1			
	解析学Ⅱ ※	4後		2					1			
	線形代数学 ※	5前		2					1			
	離散数学 ※	4前		2					1			
	情報数学 ※	5前		2					1			
	認知科学 ※	4通		4			1					1
	保健体育Ⅰ	1通		2						1		
	保健体育Ⅱ	2通		2						1		
	保健体育Ⅲ	3通		2			1			1		
	表現基礎	1通		2					1			
	グラフィックデザイン	1通		2					1			
	写真・映像デザイン	3通		2			1		1			
	小計(39科目)	-		82	4							

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助 手 を 除 く)
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
一 般 科 目	文章表現	1通	○	2					1			1
	国語Ⅰ	2通	○	2					1			
	国語Ⅱ ※	4後	○	2					1	1		
	論文作成法	5前		2					1			
	SFプロトタイピング ※	5後		2								
	英語Ⅰ	1通	○	4					1			
	英語Ⅱ	2通	○	4					1			
	英語Ⅲ	3通	○	2					1			
	英語Ⅳ ※	4通	○	4					1			
	英語Ⅴ ※	5前	○	2					1			
	現代社会A	1通	○	2								1
	現代社会B	3通	○	2								
	歴史	2通		2				1	1			
	倫理	3通	○	2						1		
	心理学 ※	4前		2								
	社会学基礎 ※	5後		2						1		
	法律 ※	5後			2							
	地理 ※	5後			2							
	基礎数学Ⅰ	1通	○	2					1	1		
	基礎数学Ⅱ	2通	○	2					1	1		
	代数幾何学	2通	○	2				1	1			1
	微分積分学	3通	○	2				1	1			
	確率統計学	3通	○	2				1				
	物理	1通	○	2								
	化学	1通		2			1					
	地球・自然環境	2通		2			1		1			
	解析学Ⅰ ※	4前	○	2					1			
	解析学Ⅱ ※	4後	○	2					1			
	線形代数学 ※	5前	○	2					1			
	離散数学 ※	4前	○	2					1			
	情報数学 ※	5前	○	2					1			
	認知科学 ※	4通		4			1					1
	保健体育Ⅰ	1通		2						1		
	保健体育Ⅱ	2通		2						1		
	保健体育Ⅲ	3通		2				1		1		
	表現基礎	1通	○	2					1			
	グラフィックデザイン	1通	○	2					1			
	写真・映像デザイン	3通		2				1	1			
	小計(39科目)	-		82	4							

卒業要件及び履修方法
1. 一般科目 必修科目82単位 選択必修科目2単位 ①以下2科目より1科目2単位を選択 ・法律(2単位) ・地理(2単位) 2. 専門科目 必修科目71単位 選択必修科目12単位 ①以下2科目より 2単位 ・電子回路(2単位) ・統計データ分析(2単位) ②以下2科目より 2単位 ・ゲームデザイン(2単位) ・ジェネラティブデザイン(2単位) ③以下2科目より 1単位 ・エンジニア探究(1単位) ・建築家探究(1単位) ④以下2科目より 1単位 ・デザイナー探究(1単位) ・アーティスト探究(1単位) ⑤以下2科目より 2単位 ・起業ワークショップ演習(2単位) ・食農ワークショップ演習(2単位) ⑥以下2科目より 2単位 ・デザインエンジニアリング演習(2単位) ・建築ワークショップ演習(2単位) ⑦以下2科目より 2単位 ・循環型プロダクトワークショップ演習(2単位) ・アートワークショップ演習(2単位) 卒業に必要な単位数:167単位 このほか、90単位時間分の特別活動を行うこと。 授業科目名に※を付しているものは、学修単位科目とする。

卒業要件及び履修方法
1. 一般科目 必修科目82単位 選択必修科目2単位 ①以下2科目より1科目2単位を選択 ・法律(2単位) ・地理(2単位) 2. 専門科目 必修科目71単位 選択必修科目12単位 ①以下2科目より 2単位 ・電子回路(2単位) ・統計データ分析(2単位) ②以下2科目より 2単位 ・ゲームデザイン(2単位) ・ジェネラティブデザイン(2単位) ③以下2科目より 1単位 ・エンジニア探究(1単位) ・建築家探究(1単位) ④以下2科目より 1単位 ・デザイナー探究(1単位) ・アーティスト探究(1単位) ⑤以下2科目より 2単位 ・起業ワークショップ演習(2単位) ・食農ワークショップ演習(2単位) ⑥以下2科目より 2単位 ・デザインエンジニアリング演習(2単位) ・建築ワークショップ演習(2単位) ⑦以下2科目より 2単位 ・循環型プロダクトワークショップ演習(2単位) ・アートワークショップ演習(2単位) 卒業に必要な単位数:167単位 このほか、90単位時間分の特別活動を行うこと。 授業科目名に※を付しているものは、学修単位科目とする。

【令和5年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			基幹教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
一 般 科 目	文章表現	1通	2					1			1
	国語Ⅰ	2通	2					1	1		
	国語Ⅱ ※	4後	2					1	1		
	論文作成法	5前	2					1			
	SFプロトタイピング ※	5後	2								
	英語Ⅰ	1通	4					1			
	英語Ⅱ	2通	4					1			
	英語Ⅲ	3通	2					1			
	英語Ⅳ ※	4通	4					1			
	英語Ⅴ ※	5前	2					1			
	現代社会A	1通	2						1		2
	現代社会B	3通	2						2		
	歴史	2通	2				1	1	1		
	倫理	3通	2						1		
	心理学 ※	4前	2								
	社会学基礎 ※	5後	2						1		
	法律 ※	5後		2							
	地理 ※	5後		2							
	基礎数学Ⅰ	1通	2					1	1		
	基礎数学Ⅱ	2通	2					1	1		
	代数幾何学	2通	2				1	1			6
	微分積分学	3通	2				1	1			
	確率統計学	3通	2				1				
	物理	1通	2			1					
	化学	1通	2			1					
	地球・自然環境	2通	2			1	1				
	解析学Ⅰ ※	4前	2				1				
	解析学Ⅱ ※	4後	2				1				
	線形代数学 ※	5前	2				1				
	離散数学 ※	4前	2				1				
	情報数学 ※	5前	2				1				1
	認知科学 ※	4通	4			1					
	保健体育Ⅰ	1通	2						1		
	保健体育Ⅱ	2通	2						1		
	保健体育Ⅲ	3通	2				1		1		
	保健体育Ⅳ	4通	2						1		
	表現基礎	1通	2					1			
	グラフィックデザイン	1通	2					1			
	写真・映像デザイン	3通	2			1		1			
	小計(39科目)	-	82	4							

専 門 科 目	ITブートキャンプ	1前	1			1					7
	情報工学基礎	1通	2			1					
	基礎プログラミングⅠ	1通	3			1					
	基礎プログラミングⅡ	2通	2			1					
	プログラミング演習Ⅰ	1通	3			1					
	プログラミング演習Ⅱ	2通	4			1					
	応用プログラミング	3通	2					1			
	WebプログラミングⅠ	3通	4					1			
	WebプログラミングⅡ	4前	2					1			
	アルゴリズム	3通	2					1			
	電気電子工学基礎	2通	2				1				
	IoTシステム	3通	2				1				
	コンピュータアーキテクチャ ※	4前	2						1		
	電子回路 ※	4後		2			1				
	統計データ分析 ※	4後		2			1				
	人工知能 ※	4後	2				1				
	ネットワーク・インターネット ※	5前	2				1				
	コンピュータセキュリティ ※	5前	2				1				
	データ処理 ※	5後	2								7
	エディトリアルデザイン	2前	1			1					
	Webデザイン	2通	2			1					
	UI/UXデザイン	2通	2			1					
	3DCG & CADデザイン	3前	1				1				
	建築デザイン	3後	1				1				
	プロダクトデザイン ※	4後	2								8
	ゲームエンジン ※	5前		2							9
	ジェネラティブデザイン ※	5前		2							
	ネイバーフッド概論A	1通	2				1				
	ネイバーフッド演習	4通	2				2				
	アントレプレナーシップ概論	2通	2				1				
	アントレプレナーシップ演習	3通	2				2				
	起業家探究	2後	1			1					
	エンジニア探究	3前		1			1				
	建築家探究	3前		1			1				
	デザイナー探究	3後		1		1					
	アーティスト探究	3後		1			1				
	起業ワークショップ演習	5通		2			2				
	食農ワークショップ演習	5通		2							11
	ネイバーフッド概論B ※	5後	2				1				
	インターンシップ	4前	3				3		2		
	デザインエンジニアリング演習	4前		2			3		1		
	建築ワークショップ演習	4前		2			1				
	循環型プロダクトワークショップ演	4後		2			1				12・1
	アートワークショップ演習	4後		2			1				
	デザインエンジニアリング実践	4後	1			1	3				
	卒業研究／制作	5通	8			3	3		1		
	小計(46科目)	-	71	24	0						
	合計(85科目)	-	153	28	0						

卒業要件及び履修方法

1. 一般科目

必修科目82単位

選択必修科目2単位

①以下2科目より1科目2単位を選択

・法律(2単位) ・地理(2単位)

2. 専門科目

必修科目71単位

選択必修科目12単位

①以下2科目より 2単位

・電子回路(2単位) ・統計データ分析(2単位)

②以下2科目より 2単位

・ゲームデザイン(2単位) ・ジェネラティブデザイン(2単位)

③以下2科目より 1単位

・エンジニア探究(1単位) ・建築家探究(1単位)

④以下2科目より 1単位

・デザイナー探究(1単位) ・アーティスト探究(1単位)

⑤以下2科目より 2単位

・起業ワークショップ演習(2単位) ・食農ワークショップ演習(2単位)

⑥以下2科目より 2単位

・デザインエンジニアリング演習(2単位)

・建築ワークショップ演習(2単位)

⑦以下2科目より 2単位

・循環型プロダクトワークショップ演習(2単位)

・アートワークショップ演習(2単位)

卒業に必要な単位数:167単位

このほか、90単位時間分の特別活動を行うこと。

授業科目名に※を付しているものは、学修単位科目とする。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字としてください。(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
- その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
- 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
- (例: 記載順) 【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

・特になし。

【令和6年度】

・令和6年度より改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)を適用。
 ・令和6年度より「助教1」の退任により「現代社会A」を「基幹教員以外の教員1」に変更
 ・令和6年度より「助教1」の退任により「現代社会B」を「基幹教員以外の教員1」に変更
 ・「法律」について開講クラス数の見直しにより「基幹教員以外の教員3」を「基幹教員以外の教員2」に変更。シラバスなど授業内容への影響はなし。
 ・「地理」について開講クラス数の見直しにより「基幹教員以外の教員5」を「基幹教員以外の教員1」に変更。シラバスなど授業内容への影響はなし。
 ・「物理」について開講クラス数の見直しにより「教授1」「基幹教員以外の教員6」を「基幹教員以外の教員1」に変更。シラバスなど授業内容への影響はなし。
 ・「写真・映像デザイン」について「教授1」就任辞退により「准教授1」「講師1」に変更
 ・「ITブートキャンプ」について令和6年度より「教授1」退任ならびに申請時の誤りにより「助教1」「基幹教員以外の教員1」に変更。シラバスなど授業内容への影響はなし。
 ・令和6年度より「情報工学基礎」について「教授1」退任により「准教授1」に変更
 ・令和6年度より「基礎プログラミングⅠ」について「教授1」退任により「助教1」に変更
 ・令和6年度より「基礎プログラミングⅡ」について「教授1」退任により「助教1」に変更
 ・令和6年度より「プログラミング演習Ⅰ」について「教授1」退任により「助教1」に変更
 ・令和6年度より「プログラミング演習Ⅱ」について「教授1」退任により「助教1」に変更
 ・「データ処理」について開講クラス数の見直しにより「基幹教員以外の教員7」を「基幹教員以外の教員1」に変更。シラバスなど授業内容への影響はなし。
 ・「エディトリアルデザイン」について「教授1」就任辞退により「准教授1」に変更
 ・「Webデザイン」について「教授1」就任辞退により「准教授1」に変更
 ・「UI/UXデザイン」について「教授1」就任辞退により「准教授1」に変更
 ・「プロダクトデザイン」について開講クラス数の見直しにより「基幹教員以外の教員8」を「基幹教員以外の教員1」に変更。シラバスなど授業内容への影響はなし。
 ・「ゲームエンジン」について開講クラス数の見直しにより「基幹教員以外の教員9」を「基幹教員以外の教員1」に変更。シラバスなど授業内容への影響はなし。
 ・「デザイナー研究」について「教授1」就任辞退により「准教授1」に変更
 ・「食農ワークショップ」について開講クラス数の見直しにより「基幹教員以外の教員11」を「基幹教員以外の教員1」に変更。シラバスなど授業内容への影響はなし。
 ・「循環型プロダクトワークショップ」について開講クラス数の見直しにより「基幹教員以外の教員12・13」を「基幹教員以外の教員2」に変更。シラバスなど授業内容への影響はなし。
 ・「卒業研究／制作」について「教授1」の就任辞退「教授1」の退任により「教授1」「准教授4」に変更

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
 ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
69 科目	16 科目	科目	85 科目	69 科目 []	16 科目 []	科目 []	85 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{85} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	12483㎡	0㎡	0㎡	12483㎡			
	そ の 他	11440㎡	0㎡	0㎡	11440㎡			
	合 計	23923㎡	0㎡	0㎡	23923㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	高等専門学校全体		
		3,388.69㎡ (3,388.69㎡)	0㎡ (0 ㎡)	0㎡ (0 ㎡)	3,388.69㎡ (3,388.69㎡)			
(3) 教室・教員研究室		教 室	14室	教員研究室	11			
(4) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書		学術雑誌		機械・器具	標 本	
		〔うち外国書〕	電子図書	〔うち外国書〕	電子ジャーナル			
		4340冊	〔うち外国書〕	35種	〔うち外国書〕	9点	点	
	〇〇学部	3938 [286]	402 [78]	32 [3]	3 [2]	9	()	
		(3938 [286])	(402 [78])	(32 [3])	(3 [2])	(9)		
	計	3938 [286]	402 [78]	32 [3]	3 [2]	9	()	
(3938 [286])		(402 [78])	(32 [3])	(3 [2])	(9)			
(5) スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂	厚生補導施設			
		726.00㎡		0㎡	0㎡			
(6) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費 の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設年度	完成年度	各変更理由は下記 図書購入費：輸入本を購入する際 の為替影響のため。 共同研究費：備品等の購入時期前 倒しのため。 設備購入費：開設前年度は設備充 実と一部仕様の変更のため、開設 年度は高等専門学校スタートアッ プ教育環境整備補助金を元にした 起業家工房整備のため。
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	20,000千円	2,000千円	
		共同研究費等	4,000千円 3,000千円	3,000千円	設備購入費	289,128千円 280,622千円	0千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	千円
		2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		手数料、寄附金をもって維持する。					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。
 (複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び
 「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、
その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」
 を併せて提出してください。
 - ・ 高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
 - ・ 国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²				
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²				
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用			
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)				
(3) 講義室等・新設研究科等の 専任教員研究室		講義室	実験・実習室	演習室	新設研究科等の 専任教員研究室	(例) 16 +5室 (例) 令和6年4月 専任教員教授1名を新規採用のため(6)			
		室	室	室	(例) 16 +5室				
(4) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 点	標 本 点		
		〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	〇〇学部	〔 〕 ([])	〔 〕 ([])	〔 〕 ([])	〔 〕 ([])	()	()		
	計	〔 〕 ([])	〔 〕 ([])	〔 〕 ([])	〔 〕 ([])	()	()		
(5) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の2)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(5)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考		
デザイン	5	40	年次人 -	200	準学士(工学)	1.05	1.05	-	令和5	-	徳島県名西郡神山町神領字西上角175-1		
・エンジニアリング学科								-			徳島県名西郡神山町神領字大窪地343		
学校全体	5	40	-	200	-	-	-	-	-	-			

(注) ・本調査の対象となっている大学短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。

- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6-7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

- ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

- ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<デザイン・エンジニアリング学科>

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	関戸 大 (50) <令和5年4月> 理学博士 化学、地球・自然環境 認知科学、起業家探究 デザインエンジニアリング実践 卒業研究／制作
		正木 忠勝 (59) <令和5年4月> 理学修士 ITブートキャンプ 情報工学基礎 基礎プログラミングⅠ・Ⅱ プログラミング演習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究／制作
専	教授	原田 泰 (60) <令和5年4月> 感性科学博士 エディトリアルデザイン Webデザイン、UI/UXデザイン 写真・映像デザイン ※ デザイナー探究 卒業研究／制作
専	准教授	光永 文彦 (42) <令和6年4月> 修士(学術) 代数幾何学、微分積分学 確率統計学、解析学Ⅰ・Ⅱ 線形代数学、離散数学 情報数学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	関戸 大 (50) <令和5年4月> 理学博士 化学、地球・自然環境 認知科学、起業家探究 デザインエンジニアリング 実践 卒業研究／制作
		正木 忠勝 (59) <令和5年4月> 理学修士 ITブートキャンプ 情報工学基礎 基礎プログラミングⅠ・Ⅱ プログラミング演習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究／制作
専	教授	原田 泰 (60) <令和5年4月> 感性科学博士 エディトリアルデザイン Webデザイン、UI/UXデザイン 写真・映像デザイン ※ デザイナー探究 卒業研究／制作
専	准教授	光永 文彦 (42) <令和6年4月> 修士(学術) 代数幾何学、微分積分学 確率統計学、解析学Ⅰ・Ⅱ 線形代数学、離散数学 情報数学

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	関戸 大 (51) <令和5年4月> 理学博士 化学、地球・自然環境 認知科学、起業家探究 デザインエンジニアリング実践 卒業研究／制作
基 (専)	准教授	光永 文彦 (43) <令和6年4月> 修士(学術) 代数幾何学、微分積分学 確率統計学、解析学Ⅰ・Ⅱ 線形代数学、離散数学 情報数学

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐野 淳也 (51) ＜令和5年4月＞ ソーシャル・イノベーション博士
		地球・自然環境 ネイバーフッド概論A・B ネイバーフッド演習 インターンシップ デザインエンジニアリング実践 卒業研究／制作
専	准教授	鈴木 厚行 (46) ＜令和6年4月＞ 工学博士
		電気電子工学基礎、IoTシステム 電子回路、エンジニア探究 インターンシップ デザインエンジニアリング演習 デザインエンジニアリング実践 卒業研究／制作、歴史 ※ 保健体育Ⅲ ※
専	准教授	越後 正志 (41) ＜令和7年4月＞ 博士（美術）
		3DCG&CADデザイン 建築デザイン、建築家探究 アーティスト探究、インターンシップ 建築ワークショップ演習 アートワークショップ演習 デザインエンジニアリング実践 卒業研究／制作
専	講師	阪本 恒平 (34) ＜令和5年4月＞ 学士（文学）
		文章表現 国語Ⅰ・Ⅱ 論文作成法
専	講師	廣瀬 智子 (39) ＜令和5年4月＞ 修士（英語教育）（専門職）
		英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐野 淳也 (51) ＜令和5年4月＞ ソーシャル・イノベーション博士
		地球・自然環境 ネイバーフッド概論A・B ネイバーフッド演習 インターンシップ デザインエンジニアリング実践 卒業研究／制作
専	准教授	鈴木 厚行 (46) ＜令和6年4月＞ 工学博士
		電気電子工学基礎、IoTシステム 電子回路、エンジニア探究 インターンシップ デザインエンジニアリング演習 デザインエンジニアリング実践 卒業研究／制作、歴史 ※ 保健体育Ⅲ ※
専	准教授	越後 正志 (41) ＜令和7年4月＞ 博士（美術）
		3DCG&CADデザイン 建築デザイン、建築家探究 アーティスト探究、インターンシップ 建築ワークショップ演習 アートワークショップ演習 デザインエンジニアリング実践 卒業研究／制作
専	講師	阪本 恒平 (34) ＜令和5年4月＞ 学士（文学）
		文章表現 国語Ⅰ・Ⅱ 論文作成法
専	講師	廣瀬 智子 (39) ＜令和5年4月＞ 修士（英語教育）（専門職）
		英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	准教授	佐野 淳也 (52) ＜令和5年4月＞ ソーシャル・イノベーション博士
		地球・自然環境 ネイバーフッド概論A・B ネイバーフッド演習 インターンシップ デザインエンジニアリング実践 卒業研究／制作
基 (主 専)	准教授	鈴木 厚行 (47) ＜令和6年4月＞ 工学博士
		情報工学基礎 基礎プログラミングⅠ・Ⅱ プログラミング演習Ⅰ 電気電子工学基礎、IoTシステム 電子回路、エンジニア探究 インターンシップ デザインエンジニアリング演習 デザインエンジニアリング実践 卒業研究／制作、歴史 ※ 保健体育Ⅲ ※
基 (主 専)	准教授	越後 正志 (42) ＜令和7年4月＞ 博士（美術）
		3DCG&CADデザイン 建築デザイン、建築家探究 アーティスト探究、インターンシップ 建築ワークショップ演習 アートワークショップ演習 デザインエンジニアリング実践 卒業研究／制作
基 (主 専)	講師	阪本 恒平 (35) ＜令和5年4月＞ 学士（文学）
		文章表現 国語Ⅰ・Ⅱ 論文作成法
基 (主 専)	講師	廣瀬 智子 (40) ＜令和5年4月＞ 修士（英語教育）（専門職）
		英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ
実 基 (専 他)	准教授	本末 英樹 (40) ＜令和6年4月＞ 経営学修士（専門職）
		エディトリアルデザイン Webデザイン、UI/UXデザイン 写真・映像デザイン ※ デザイナー探究 卒業研究／制作

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	塩見 拓博 (38) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学） 基礎数学Ⅰ・Ⅱ 代数幾何学 微分積分学
		新井 啓太 (39) ＜令和5年4月＞ 学士（美術） 表現基礎 グラフィックデザイン 写真・映像デザイン ※ 歴史 ※
専	助教	春田 麻里 (51) ＜令和6年4月＞ 教職修士（専門職） 国語Ⅰ・Ⅱ
		大山 力也 (32) ＜令和5年4月＞ 教育修士（専門職） 現代社会A・B 歴史 ※ 倫理 社会学基礎
専	助教	藤川 瞭 (30) ＜令和7年4月＞ 教職修士（専門職） 現代社会B インターンシップ
		高島 あゆみ (39) ＜令和5年4月＞ 学士（理学） 基礎数学Ⅰ・Ⅱ

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	塩見 拓博 (38) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学） 基礎数学Ⅰ・Ⅱ 代数幾何学 微分積分学
		新井 啓太 (39) ＜令和5年4月＞ 学士（美術） 表現基礎 グラフィックデザイン 写真・映像デザイン ※ 歴史 ※
専	助教	春田 麻里 (51) ＜令和6年4月＞ 教職修士（専門職） 国語Ⅰ・Ⅱ
		大山 力也 (32) ＜令和5年4月＞ 教育修士（専門職） 現代社会A・B 歴史 ※ 倫理 社会学基礎
専	助教	藤川 瞭 (30) ＜令和7年4月＞ 教職修士（専門職） 現代社会B インターンシップ
		高島 あゆみ (39) ＜令和5年4月＞ 学士（理学） 基礎数学Ⅰ・Ⅱ

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	講師	塩見 拓博 (39) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学） 基礎数学Ⅰ・Ⅱ 代数幾何学 微分積分学
		新井 啓太 (40) ＜令和5年4月＞ 学士（美術） 表現基礎 グラフィックデザイン 写真・映像デザイン ※ 歴史 ※
基 (主 専)	助教	春田 麻里 (52) ＜令和6年4月＞ 教職修士（専門職） 国語Ⅰ・Ⅱ
基 (主 専)	助教	藤川 瞭 (31) ＜令和7年4月＞ 教職修士（専門職） 現代社会B インターンシップ
基 (主 専)	助教	水田 徹 (28) ＜令和6年4月＞ 学士（教育学） 基礎数学Ⅰ・Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	古屋 佑奈 (35) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		保健体育Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
専	助教	鈴木 知真 (34) ＜令和7年4月＞ 工学博士
		応用プログラミング WebプログラミングⅠ・Ⅱ アルゴリズム コンピュータアーキテクチャ インターンシップ デザインエンジニアリング演習 卒業研究／制作
実み	准教授	西川 仁 (36) ＜令和8年4月＞ 工学博士
		統計データ分析 人工知能 デザインエンジニアリング演習
実み	准教授	鶴飼 裕司 (50) ＜令和8年4月＞ 工学博士
		ネットワーク・インターネット コンピュータセキュリティ デザインエンジニアリング演習
実み	准教授	入江 英也 (49) ＜令和6年4月＞ 経営学修士（専門職）
		アントレプレナーシップ概論 アントレプレナーシップ演習 起業ワークショップ演習
実み	准教授	須藤 順 (41) ＜令和7年4月＞ 経営経済学博士
		ネイバーフッド演習 アントレプレナーシップ演習 起業ワークショップ演習

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	古屋 佑奈 (35) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		保健体育Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
専	助教	鈴木 知真 (34) ＜令和7年4月＞ 工学博士
		応用プログラミング WebプログラミングⅠ・Ⅱ アルゴリズム コンピュータアーキテクチャ インターンシップ デザインエンジニアリング演習 卒業研究／制作
実み	准教授	西川 仁 (36) ＜令和8年4月＞ 工学博士
		統計データ分析 人工知能 デザインエンジニアリング演習
実み	准教授	鶴飼 裕司 (50) ＜令和8年4月＞ 工学博士
		ネットワーク・インターネット コンピュータセキュリティ デザインエンジニアリング演習
実み	准教授	入江 英也 (49) ＜令和6年4月＞ 経営学修士（専門職）
		アントレプレナーシップ概論 アントレプレナーシップ演習 起業ワークショップ演習
実み	准教授	須藤 順 (41) ＜令和7年4月＞ 経営経済学博士
		ネイバーフッド演習 アントレプレナーシップ演習 起業ワークショップ演習

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	助教	鈴木 佑奈 (36) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		保健体育Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
基 (主 専)	助教	鈴木 知真 (35) ＜令和7年4月＞ 工学博士
		基礎プログラミングⅠ・Ⅱ プログラミング演習Ⅰ・Ⅱ 応用プログラミング ITブートキャンプ WebプログラミングⅠ・Ⅱ アルゴリズム コンピュータアーキテクチャ インターンシップ デザインエンジニアリング演習 卒業研究／制作
基 (専)	准教授	西川 仁 (37) ＜令和8年4月＞ 工学博士
		統計データ分析 人工知能 デザインエンジニアリング演習
実み 基 (専 他)	准教授	鶴飼 裕司 (51) ＜令和8年4月＞ 工学博士
		ネットワーク・インターネット コンピュータセキュリティ デザインエンジニアリング演習
実み 基 (専 他)	准教授	入江 英也 (50) ＜令和6年4月＞ 経営学修士（専門職）
		アントレプレナーシップ概論 アントレプレナーシップ演習 起業ワークショップ演習
実み 基 (専 他)	准教授	須藤 順 (42) ＜令和7年4月＞ 経営経済学博士
		ネイバーフッド演習 アントレプレナーシップ演習 起業ワークショップ演習

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	津久井 悠太 ＜令和9年10月＞ 工学修士 SFプロトタイピング
		甲田 宗良 ＜令和8年4月＞ 修士（教育学） 心理学
兼任	講師	金西 計英 ＜令和9年4月＞ 工学博士 法律 ※
		柴田 堯史 ＜令和9年4月＞ 法学博士 法律 ※
兼任	講師	塚本 章宏 ＜令和9年4月＞ 文学博士 地理
		福野 泰介 ＜令和5年4月＞ 高等専門学校卒 IIフートキャンプ データ処理
兼任	講師	石井 大輔 ＜令和8年4月＞ 学士（美術） プロダクトデザイン

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	津久井 悠太 ＜令和9年10月＞ 工学修士 SFプロトタイピング
		甲田 宗良 ＜令和8年4月＞ 修士（教育学） 心理学
兼任	講師	金西 計英 ＜令和9年4月＞ 工学博士 法律 ※
		柴田 堯史 ＜令和9年4月＞ 法学博士 法律 ※
兼任	講師	塚本 章宏 ＜令和9年4月＞ 文学博士 地理
		福野 泰介 ＜令和5年4月＞ 高等専門学校卒 IIフートキャンプ データ処理
兼任	講師	石井 大輔 ＜令和8年4月＞ 学士（美術） プロダクトデザイン

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	津久井 悠太 ＜令和9年10月＞ 工学修士 SFプロトタイピング
		甲田 宗良 ＜令和8年4月＞ 修士（教育学） 心理学
兼任	講師	金西 計英 ＜令和9年4月＞ 工学博士 法律 ※
		柴田 堯史 ＜令和9年4月＞ 法学博士 法律 ※
兼任	講師	塚本 章宏 ＜令和9年4月＞ 文学博士 地理
		福野 泰介 ＜令和5年4月＞ 高等専門学校卒 IIフートキャンプ データ処理
兼任	講師	石井 大輔 ＜令和8年4月＞ 学士（美術） プロダクトデザイン

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	梶原 洋平 ＜令和9年4月＞ 学士（量子エネルギー工学） ゲームエンジン
兼任	講師	瀬賀 誠一 ＜令和9年4月＞ 学士（工学） ジェネラティブデザイン
兼任	講師	真鍋 太一 ＜令和9年4月＞ 学士（デザイン） 食農ワークショップ演習
兼任	講師	齊藤 隆仁 ＜令和5年4月＞ 理学博士 物理
兼任	講師	井田 幸男 ＜令和8年4月＞ 学士（商学） 循環型プロダクトワークショップ演習 ※
兼任	講師	横手 綾美 ＜令和8年4月＞ 学士（工学） 循環型プロダクトワークショップ演習 ※

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	梶原 洋平 ＜令和9年4月＞ 学士（量子エネルギー工学） ゲームエンジン
兼任	講師	瀬賀 誠一 ＜令和9年4月＞ 学士（工学） ジェネラティブデザイン
兼任	講師	真鍋 太一 ＜令和9年4月＞ 学士（デザイン） 食農ワークショップ演習
兼任	講師	齊藤 隆仁 ＜令和5年4月＞ 理学博士 物理
兼任	講師	井田 幸男 ＜令和8年4月＞ 学士（商学） 循環型プロダクトワークショップ演習 ※
兼任	講師	横手 綾美 ＜令和8年4月＞ 学士（工学） 循環型プロダクトワークショップ演習 ※

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	梶原 洋平 ＜令和9年4月＞ 学士（量子エネルギー工学） ゲームエンジン
兼任	講師	瀬賀 誠一 ＜令和9年4月＞ 学士（工学） ジェネラティブデザイン
兼任	講師	真鍋 太一 ＜令和9年4月＞ 学士（デザイン） 食農ワークショップ演習
兼任	講師	齊藤 隆仁 ＜令和5年4月＞ 理学博士 物理
兼任	講師	井田 幸男 ＜令和8年4月＞ 学士（商学） 循環型プロダクトワークショップ演習 ※
兼任	講師	横手 綾美 ＜令和8年4月＞ 学士（工学） 循環型プロダクトワークショップ演習 ※
兼任	講師	和田 栄治 ＜令和6年4月＞ 学士（経営学） 現代社会A・B 歴史 ※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）（その2の2）（その2の3）に準じて作成してください。
 - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以前については、改正前様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）以外の教員（改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員）を含む。）を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」（改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」）の順に記入してください。
 - ・ 改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。
 - ・ 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間（年月日）を上段「学位」の下へ記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

・該当なし

【令和6年度】

- ・令和6年3月正木忠勝教授退任。
- ・令和5年7月原田泰教授就任辞任。令和6年4月本末英樹准教授就任。令和5年12月教員審査済み。
- ・令和6年3月高島あゆみ助教退任。令和6年4月水田徹助教就任。令和5年6月教員審査済み。
- ・令和8年4月西川仁准教授が実務家みなし基幹教員（専他）から基幹教員（主専）として就任予定。令和5年9月教員審査済み。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。

原則としてＡＣ教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、ＡＣ教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要があります。）

- ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における 設置基準上の必要基 幹教員数(α)	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数	うち、完成年度時における 設置基準上の専ら当該学部 等の教員研究に従事する必 要基幹教員数(α)の4 分の3以上
20 名	10 名	15 名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在(報告時)の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 (「基(主専)」及び 「基(専)」の計 (A'))	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 (「基(主専)」及び 「基(専)」の計 (B'))	助手 (B')
3	8	4	6	21	21	0	1	6	4	5	16	16	0
(2)	(1)	(4)	(6)	(13)	(13)	(0)							
現在(報告時)の完成年度時の状況							現在(報告時)の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 (「基(主専)」及び 「基(専)」の計 (C'))	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 (「基(主専)」及び 「基(専)」の計 (D'))	助手 (D')
1	9	4	5	19	19	0	2	9	5	5	21	21	0
[Δ2]	[+1]	[-]	[-1]	[-2]	[-2]	[-]	[Δ1]	[+1]	[+1]	[-1]	[-]	[-]	[-]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)(A'))」欄には「-」を記入してください。
・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】
現在(報告時)の完成年度時の状況(C) = $\frac{19}{21}$ = 90.47 %
設置時の計画(A)

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】
現在(報告時)の完成年度時の状況(C') = $\frac{19}{21}$ = 90.47 %
設置時の計画(A')

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹(専任)教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹(専任)教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	原 田 泰	R5.7	必修	エディトリアルデザイン	①	R5.7体調面の不安のため就任辞退（5）						
				必修	Webデザイン	①							
				必修	UI/UXデザイン	①							
				必修	写真・映像デザイン	①							
				必修	デザイナー研究	①							
				必修	卒業研究／制作	①							
合 計 （ D ）						後任補充状況の集計（ E ）							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（ a ） + （ b ） + （ c ）			①の合計数（ a ）		②の合計数（ b ）		③の合計数（ c ）			
1	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹(専任)教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までには基幹(専任)教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼任教員)が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	正木 忠勝	R6.3	必修	ITブートキャンプ	①	R6.3.31付体調に不安があるため辞任（５）						
				必修	情報工学基礎	①							
				必修	基礎プログラミングⅠ	①							
				必修	基礎プログラミングⅡ	①							
				必修	プログラミング演習Ⅰ	①							
				必修	プログラミング演習Ⅱ	①							
				必修	卒業研究／制作	①							
2	助教	大山 力也	R6.3	必修	現代社会A・B	①	R5.3.31付け自己都合のため辞任（５）						
				必修	歴史	①							
				必修	倫理	③							
				必修	社会学基礎	③							
3	助教	高島 あゆみ	R6.3	必修	基礎数学Ⅰ	①	R6.3.31付家庭の事情により辞任（５）						
				必修	基礎数学Ⅱ	①							
合計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
3	人	必修	13	科目	必修	13	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	13	科目	計	13	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹(専任)教員について、記入してください。(学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。)

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼任教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③ 上記（３）－① ・ （３）－② の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
4	人	必修	19 科目	必修	19 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	19 科目	計	19 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)－③合計(D)+(F)}{(2)－②設置時の計画(A)} = \frac{4}{21} = 19.04 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

3 人

(注) ・ (3)－①、(3)－②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由					
合 計					後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教員の退職については、あらかじめ本人からの申し出を受けたのち、速やかに後任の手配等を組織的に進め、教育に影響を与えぬよう対応している。学生には本人もしくは他のスタッフから授業内外で辞任を告知するとともに、授業運営上の影響がないことを周知するとともに、すでに在職中の他の基幹教員により適宜授業運営上のフォローを後任者について行うなど、適切に対応を行っている。

- (注) ・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和4年)	設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行遵守事項すること。また、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成するという高等専門学校の目的に照らし、開設時から充実した教育活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	【認可】 遵守事項 教職員全体会議を令和5年4月より毎週開催し、設置の趣旨・目的等に沿って設置計画を確実に履行するように運営している。 教員においては、授業担当会議を令和5年10月より原則毎月開催し、学生の具体的な状況を踏まえた教育履行計画に改善するほか、より充実した教育活動の実現や授業内容及び方法の改善を図るためのFD・SD研修を定期的に行ってきた。また、授業においてはバディ制度を採用し、担当教員以外の目で客観的な助言をしあう体制を構築している。 加えて、令和6年3月には、年間計画に対する組織課題を明らかにしながら、当該設置の趣旨・目的等に沿った教育活動を行うための教職員全体研修を集中的に実施し、設置計画の確実な履行を目指している。	履行中 設置の趣旨・目的等に示された人材の養成を目指し、設置計画の履行ならびに教育課程を実施していく計画である。 FD・SD委員会主導のもと、組織的に教育活動や授業内容及び方法の改善を図るための研修会もしくは研究会を原則毎月実施し、教職員の教育活動向上に努め、授業内容及び方法などの改善点については教育課程に反映し実施する。 また、教職員全体研修については年1回を目安として実施し、年間計画に対する実施状況を共有しながら、より組織的な教育水準の向上を目指す。
認 可 時 (令和4年)	審査意見への対応を記載した書類(6月)」の審査意見2への助言事項 対応において、1年次に配当された「ITフットキャンプ」による簡単なWebプログラミングの講義を通じ、プログラミングに関する一定の知識を修得させることが示されたが、学生自身の入学時におけるプログラミングに関する基礎知識の修得状況にかかわらず、全ての学生がディブローマ・ポリマーで掲げる「情報工学に関する知識と技能」を着実に習得することができるよう、「ITフットキャンプ」の履修や入学前教育等を通じて、プログラミングに関する知識等が十分ではない学生に対しても初期教育の段階で適切なフォローを行うなど、学生の効果的な学びに配慮することが望ましい。	【認可】 助言事項 入学した学生全員に対し、4月6日から11日までの4日間で計30時間の「ITフットキャンプ」の講義を実施した。プログラミング技術をはじめ情報工学全般を広く深く教授することにより、プログラミング技術に対する親しみを涵養するとともに、本学で学ぶ情報工学分野全体のオリエンテーションを実施した。1年次に6単位配当した本校のプログラミングに関する授業は、座学的で一方向的な教授ではなく、実際にプログラミングを行う演習を主体とし、全員の理解度を確認しながら進行しており、事前知識が十分ではない学生に対し、個別にフォローを行いながら授業を実施している。	履行中 1年次においては令和5年度同様に、学生の理解状況を把握しながら、場合によっては授業内容を改善するなど、学生の効果的な学びに配慮しながら授業を展開していく。また、学生の理解度に応じて個別に補習を行うなど、適切なフォローを実施する予定である。 また、2年次においてもプログラミング関係で6単位の科目を配当しており、多くの授業時間数を有効に活用した適切なフォローを行っていく予定である。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）（6）」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<デザイン・エンジニアリング学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	(令和5年度) ・文科省による「高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業」の補助金交付を受けて、技術室内に「起業家工房」を設置することとした。新たにレーザー加工機やCNCルーター等の多様な機器を導入し、課外活動におけるものづくりの更なる促進を目指す。 ・教育課程の中で英語分野において、英語のネイティブ・スピーカーをALTとして採用し、授業補助や個別レッスンを実施している。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 FD・SD委員会、倫理委員会 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） FD・SD委員会は、校長・事務部長・教務主事・担当の計6名で構成し、毎週定例会議を行った。主に授業評価方法の改善、共同授業の促進、教員同士のフィードバック促進について審議を行い、各FD・SD研修の企画に繋げた。 倫理委員会は、校長・事務部長・総務課長・教務主事・学生主事・寮務主事の計6名で構成し、案件があるごとに開催を行った。令和6年度は、研究活動における情報取り扱いについて、審議を行った。 c 委員会の審議事項等 倫理委員会は、校長・事務部長・総務課長・教務主事・学生主事・寮務主事の計6名で構成し、案件があるごとに開催を行った。令和5年度は、研究活動における情報取り扱いについて、審議を行った。 ② 実施状況 a 実施内容 月に1度、授業方法の改善や共同授業のための情報交換や検討、学生の授業での様子や個別最適化のための情報交換を行った。また、バディ制として専門の異なる教員同士でグループを作り、相互の授業参観とその後の振り返り、フィードバックによる授業改善を繰り返し行なった。年度末には2日間にわたる合宿を行い、卒業後の人物像をいかに授業や課外活動で設計できるか、ということについて議論し、具体的方策を検討した。 b 実施方法 ・FD・SD研修：オンライン・オフラインにて実施 c 開催状況（教員の参加状況含む） FD研修：令和5年5月26日、6月30日、7月28日、10月30日、11月27日、12月18日、令和6年1月29日、2月26日（原則教員全員参加） FD・SD研修：3月8日～9日、25日 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況	
---	--

定期的な方針合わせのための協議と、他教員からのフィードバックや学生からの授業評価アンケート等の客観情報を組み合わせることにより、積極的な授業改善の取り組みにつながっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期中間・期末、後期中間・期末の年4回実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

匿名に処理した上で、授業ごとに集計し、全教職員に対して公開した後、授業内容の改善について話し合った。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は情報工学分野における技術者の育成を基として、社会の情勢に左右されることなく自ら課題発見を行い、身に付けた技術力で社会が求めるサービスや製品といった「モノ」を作り出し、アントレプレナーシップを通じてその「モノ」を使って社会に変化を与えられるような事業や産業、新たな取り組みといった「コト」を起こす力を修得した人材の育成を目的としている。初年度の活動も本学の定める3ポリシーに則りながら、少人数であることの特徴を生かして、学生一人ひとりの学習状況を踏まえた改善を行い、教育研究活動を行ってきた。

今後も教育研究活動等の状況を自ら点検・評価することで、現状を正確に把握・認識するとともに、達成状況の評価し、評価結果に基づく改善の推進と教育研究水準の向上を図ることを目的として、開設年度より自己点検・評価を実施する予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和5年度活動の報告書を令和6年9月末に公表予定

b 公表方法

ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

令和11年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の評価を受審予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

【別紙 1】

神山まると高等専門学校 FD・SD委員会規程

(設置)

第1条 神山まると高等専門学校（以下、「本学」という。）の目的を達成するため、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）及びスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）を推進するFD・SD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(定義)

第2条 この規程においてFDとは、教員の教育内容及び方法を改善し、本学の教員としての能力と資質向上を図るための組織的な取り組みを言う。

2 SDとは、事務職員を含める全ての教職員を対象に必要な知識及び技能を習得させ、その能力と資質向上を図るための組織的な取り組みを言う。

(審議事項)

第3条 委員会では、次の各号に関わる事項を審議する。

(1) FD

- ア 企画・立案に関する事
- イ 教員の資質向上のための研修会、講演会、学生授業評価アンケート、相互授業参観等の実施、分析及び検証に関する事
- ウ 新任教員の資質向上に関する事
- エ 教育内容及び方法の改善に関する事
- オ 学外で開催される研修会等への参加に関する事
- カ その他FDの推進に関する事

(1) SD

- ア 企画・立案に関する事
- イ 教職員の職務能力及び管理運営能力向上のための講演会、研修会等の実施、分析及び検証に関する事
- ウ 新任職員の資質向上に関する事
- エ 学校運営上での危機管理に関する事
- オ いじめやハラスメントの対策に関する事
- カ 学外で開催される研修会等への参加に関する事
- キ その他SDの推進に関する事

(組織)

第4条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

(1) 教務主事

(2) 事務部長

(3) その他校長が必要と認めたもの

2 前項の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

3 前項の委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、教務主事をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名する委員が議長の職務を代行する。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させ、その意見を求

めることができる。

(報告)

第7条 委員長は、委員会で審議された事項を総括整理し、校長に報告するものとする。

(事務)

第8条 委員会に関する事務は、各課の協力を得て、教務課において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は別に定める。

附則

1. この学則は、2023年4月1日から施行する。

【別紙 2】

神山まると高等専門学校 倫理委員会規程

(設置)

第1条 神山まると高等専門学校（以下、「本学」という。）の目的を達成するため、倫理委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第2条 委員会は、人権・倫理の尊重について教育機関として果たすべき責務に関し必要な事項を審議し、正しい理解と認識を深めるとともに問題の処理に当たる。

(審議事項)

第3条 委員会では、次の各号に関わる事項を審議する。

- (1) 人権・倫理に係る教育・啓発の推進に関すること。
- (2) 人権・倫理に係る資料の収集に関すること。
- (3) 人権・倫理に係る問題の対応に関すること。
- (4) その他人権・倫理に関すること。

(組織)

第4条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 教務主事
 - (2) 学生主事
 - (3) 寮務主事
 - (4) 総務課長
 - (5) 事務部長
 - (6) その他校長が必要と認めたもの
- 2 前項の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。
 - 3 前項の委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、事務部長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名する委員が議長の職務を代行する。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させ、その意見を求めることができる。

(報告)

第7条 委員長は、委員会で審議された事項を総括整理し、校長に報告するものとする。

(事務)

第8条 委員会に関する事務は、各課の協力を得て、総務課において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は別に定める。

附則

1. この学則は、2023年4月1日から施行する。